

平成 28 年度 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 京都府

【学校名】 京都府立丹波支援学校

【目標・ねらい】

- ・ オリンピック・パラリンピックの価値
友情（○）卓越（ ） 尊重（ ） 勇気（ ） 決断力（○） 平等（○） 鼓舞（ ）
- ・ パラリンピック種目の体験・啓蒙
- ・ 地域の大学との交流

【実践の内容】

- ・ 9月29日
介護等体験に参加の大学生に「ボッチャ」の体験講座を実施した。
- ・ 10月2日
ボランティア養成講座に「ボッチャ」の体験講座を実施した。
- ・ 10月26日
PTAの研修会で「ボッチャ」の体験学習を実施した。
- ・ 11月6日
本校の同窓会で「ボッチャ」の体験を実施し卒業生に「ボッチャ」を紹介した。
「ソフトボール」を通じて交流した。
- ・ 11月26日
口丹高校生の交流会で「ボッチャ」の体験を通じて本校の高等部の生徒と口丹の高校生が交流した。
「ソフトボール」を通じて交流した。
- ・ 11月30日
中丹支援学校へ「ボッチャの講師」として2名派遣した。
- ・ 2月17日
京都学園大学の学生と本校の高等部生徒が「ボッチャ」等を通じて交流した。学園大学のホームページにも掲載された。
- ・ 通年
各教科、学級活動や特別活動の中で「ボッチャ」を体験した。



【2月17日 京都学園大学との交流の様子】

【実践の成果】

- パラリンピック種目の体験をし、啓蒙することにつながった。
- 上記の取組を随時丹波支援学校のホームページへのアップ、新聞報道、テレビニュース放映（中丹支援学校）等を使い広報した。
- 他者を認め合う力が向上し、同時に自己肯定感が高まった。